

心の天気、晴れになれ！



にのみや学園 二宮町立二宮西中学校 学校だより 第8号 令和6年2月26日発行

不定期発行

<表彰>

- ・令和5年度中ブロック1年生大会兼大磯杯 第3位 ソフトテニス部
- ・第56回二宮町新春ロードレース大会 中学生男子の部 第1位、第2位、第5位
中学生女子の部 第1位、第3位、第4位、第5位、第6位



新たな節目を迎えます

3年生 辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

4年前の令和2年2月末に、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大によって全校が休校になりました。今では、当時のような緊迫感は感じられず、生徒たちは勉強や部活動、学校行事を楽しんできました。3年生は、公立高校の受検を終えましたので、今月には進路が決まり卒業へと向かっていきます。

3月12日に行われる卒業式には、町行政や地域の方を来賓としてお迎えして、生徒たちの成長の姿を見ていただこうと考えています。校舎の横には、ニシサポ8名が集まって植えたピオラが花を咲かせています。

正面玄関前には、学校作業員さんが育てているサクラソウもすくすく伸びています。

卒業式予行練習のあとに、三年生を送る会（「三送会」）を予定しています。

“送る”というイメージが強いですが、“繋ぐ（つなぐ）”という大切な意味があると思います。

体育祭や秋麗祭などに打ち込む3年生の魂をこれからも受け継いでいくことでしょ。



2年生 2月9日（金）、キャリア教育の一つとして、上級学校の先生方にお越しいただき、学校の紹介等がされました。公立高校として「神奈川県立二宮高等学校」、私立高校として「向上高等学校」、通信制高校として「角川ドワンゴ学園N高等学校」をお招きしました。どの学校にもそれぞれの魅力があり、生徒たちは真剣に聴いたりメモを取ったりしていました。

生徒のメモには、「夢をもつことが大切！」「部活動で全国大会に数多く出場」「生徒は3万人」「学校行事がたくさんある」「しっかりと面倒をみてくれる」「自分を伸ばせる」「修学旅行が〇〇」などが記されていました。少しずつ中学校卒業後のことを考えるようになってきますので、ご家庭でも話題に出していただけるとよいです。



生徒のメモには、「夢をもつことが大切！」「部活動で全国大会に数多く出場」「生徒は3万人」「学校行事がたくさんある」「しっかりと面倒をみてくれる」「自分を伸ばせる」「修学旅行が〇〇」などが記されていました。少しずつ中学校卒業後のことを考えるようになってきますので、ご家庭でも話題に出していただけるとよいです。

大切なのは、自分の将来を見据えて、何をするためにどの学校を選ぶか、そして通う学校で何をどう頑張るかだと思います。



1年生 1月26日（金）、「パラアスリートが行く！ パラスポーツ体験型授業 あすチャレ！スクール」が行われました。

このプログラムは、「日本財団パラスポーツサポートセンター」の主催で行われていて、パラスポーツを通じて、生徒たちに共生社会への気づきや学びの機会を提供していただくパラスポーツ体験型出前授業です。講師は、陸上競技の永尾嘉章（ながお よしふみ）さんです。

[実績：夏季パラリンピックに7大会出場、アテネパラリンピック 4×400m で銅メダル獲得]



生徒たちの感想・学んだこと

- ・今回の授業で、少しでも諦めない心をもってみようと思いました。車いすでもいろいろな人のかかわりを得てここまで来たんだなと思いました。
- ・車いす体験は前にもしたけれど、いろいろな種類があってびっくりした。いろいろな世界があるからこそあきらめないでできることをやっていきたいです。
- ・自分ができない、苦手だからチャレンジしないのはもったいないと思いました。なんでもチャレンジしてみたいと思います。

生徒たちの感想・学んだこと

- ・「車いすは眼鏡と同じで、不自由なところがあるから使っている」という言葉にはっとさせられました。車いすを使っている人を特別視してしまう癖が自分にはありませんでした。
- ・何かと自分はあきらめがちなので、永尾さんのように何事もあきらめずに頑張りたいです。
- ・何回くじけても勝ちたいと思えるような熱心な人になれるよう頑張りたいです。



にのみやこども作品展

ふたみ記念館

令和6年3月6日(水)～3月17日(日)

10時～16時(入場は15時30分まで)

※3年生の作品のみ10日(日)まで

休館日: 3月11日(月)・12日(火)

授業で作製した1・2・3年生の作品と美術部の作品が展示されます。



大切な五つの心

お寺や参道のお店でときどき見かける言葉です。

「はい」という

素直な心

「すみません」という

反省の心

「おかげさまで」という

謙譲の心

「させていただけます」という

奉仕の心

「ありがとう」という

感謝の心

「日常の五心」です。日常生活の中で大切にしたい五つの心の持ち方を示しています。

人間の心とは何なのでしょう。インターネットや辞書で調べてみたところ、次のような解説がありました。

「人間が存在する原点。目に見えないが、感情や思考、それに伴う行動などの人間には不可欠なものを動かす、なくてはならないもの。人間の核の部分。」

「人間の体の中に宿り、意志や感情などの精神活動のもとになるもの。」

これら五つの言葉を言われると気持ちが良いものです。自分が発するときも気持ちが良いものです。二宮西中生の日々の行動を見ていると、心の成長を感じます。ご家庭ではいかがでしょうか。

小中交流会 小学6年による部活動体験

2月21日(水)、一色小学校5・6年生と山西小学校の6年生が部活動体験に来ました。部活動は、中学校生活の楽しみの一つです。入学してからも仮入部期間がありますので、よく考えてほしいです。

